

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について

二宮町教育委員会

1 はじめに

平成 29 年 4 月に実施された「平成 29 年度全国学力・学習状況調査」の二宮町立小・中学校の調査結果の概要をお知らせします。二宮町教育委員会では調査結果及び課題等を公表することにより、町民の皆様をはじめ児童生徒に関わる様々な立場の方に関心をもっていただき二宮町の学習状況の改善や児童生徒の学習意欲の向上につなげていきたいと考えております。

本調査の結果は町全体のものであり各学校や児童生徒個人の学力や学習状況を表すものではありません。また、本調査は児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面の結果です。

町民の皆様におかれましては、本調査の目的及び結果公表の趣旨をご理解いただくとともに、数値結果だけを重視するのではなく教育の過程も勘案いただき、本町の児童生徒の健全育成のために公表資料を有効にご活用くださいますようお願いいたします。

2 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ・以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査の内容

- ・教科に関する調査（国語、算数/数学）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

(3) 実施期日

平成 29 年 4 月 18 日（火）

(4) 調査を実施した児童生徒数

小学校 6 年生 2 1 7 人（3 校合計）

中学校 3 年生 2 1 3 人（2 校合計）

3 調査の結果

(1) 教科に関する調査の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差

- ※ 平均正答数：児童生徒の正答数の平均。(正答数の平均/総問題数)
 平均正答率：児童生徒の平均正答数を百分率で表示。文部科学省は都道府県別の平均正答率を整数値で公表しているため、同様に二宮町の平均正答率も整数値で表示。
 中央値：集団のデータの大きさの順に並べたときに真ん中に位置する値。
 標準偏差：集団のデータの平均値からの離れ具合を表す数値。

[小学校]

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語 A	10.9問/15問	73%	12.0	2.9
国語 B	5.1問/9問	57%	5.0	2.0
算数 A	11.2問/15問	74%	12.0	3.4
算数 B	4.7問/11問	43%	4.0	2.5

[中学校]

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語 A	25.9問/32問	81%	28.0	5.5
国語 B	6.8問/9問	76%	7.0	2.1
数学 A	23.9問/36問	66%	25.0	8.7
数学 B	7.6問/15問	50%	8.0	3.4

(2) 各教科の概要

全国・神奈川県と比較して、課題が見られるもの、良好なものを記載しています。

[小学校：国語]

	課題が見られる設問	良好な設問
A	<ul style="list-style-type: none"> 手紙の構成を理解し、後付けを書く ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる 漢字を正しく書く 漢字を正しく読む 	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の情景を捉える
B	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く 物語を読み、具体的な記述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える 目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える

[小学校：算数]

	課題が見られる設問	良好な設問
A	<ul style="list-style-type: none"> 商を分数で表すことができる 高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解している 資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 任意単位による測定について理解している

B	<ul style="list-style-type: none"> ・料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる ・割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる ・示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができる
---	---	---

[中学校：国語]

	課題が見られる設問	良好な設問
A	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為などを表す多様な語句について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する ・楷書と行書との違いを理解する
B	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する ・表現の仕方について捉え、自分の考えを書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて資料を効果的に活用して話す ・集めた材料を整理して文章を構成する

[中学校：数学]

	課題が見られる設問	良好な設問
A	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面で、一元一次方程式をつくることのできる ・扇形の弧の長さを求めることのできる ・関数の意味を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ・命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取ることができる ・一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、x と y の関係を $y=ax+b$ の式で表すことのできる
B	<ul style="list-style-type: none"> ・事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道を立てて考え、証明することができる

(3) 児童生徒質問紙調査

『1. している・当てはまる・そう思う 2. どちらかといえばしている・当てはまる・そう思う 3. あまりしていない・当てはまらない・そう思わない 4. 全くしていない・当てはまらない・そう思わない』という選択肢のうち、「1. している・当てはまる・そう思う」と回答しているものが全国平均と5%±の差があるものを太字で表示しています。小・中いずれも差が5%未満のもの、「している・当てはまる・そう思う」という回答では答えられない質問については記載していません。質問内容は簡略に記載しています。

質問番号		質問内容	小学校(%)			中学校(%)		
小	中		二宮町	神奈川県	全国	二宮町	神奈川県	全国
1	1	朝食を毎日食べている	88.0	87.0	87.0	76.9	80.2	82.7
5	5	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する	31.8	25.9	26.7	15.2	19.2	19.9
7	7	友達の前で考えや意見を発表することが得意	27.6	23.9	21.6	21.7	18.7	17.6
10	10	将来の夢や目標を持っている	68.2	68.0	70.0	39.6	43.3	45.3
11	11	授業で学んだことを他の学習や生活に生かす	45.2	39.4	38.2	22.2	21.3	22.5
24	26	家の人と学校での出来事を話す	61.3	50.4	50.6	43.9	41.3	44.0
27	29	家の人と将来のことについて話す	23.0	14.8	15.1	13.7	15.4	17.0
30	32	家で学校の宿題をする	83.9	85.7	88.0	62.7	57.0	67.7
31	33	家で授業の予習をしている	21.2	15.6	16.3	16.5	14.4	11.3
33	35	学校に行くのは楽しい	57.6	55.5	55.4	57.1	46.0	47.3
34	36	学校で友達に会うのは楽しい	85.7	83.2	83.5	81.6	73.6	75.5
35	37	好きな授業がある	84.3	79.4	78.4	54.7	54.7	53.5
37	39	学級で何かをやり遂げ嬉しかった	65.0	60.4	60.8	75.0	58.6	61.0
38	40	先生はよいところを認めてくれている	51.2	43.0	47.3	42.9	30.8	34.5
42	44	地域や社会をよくするために考える	20.7	15.4	14.8	9.4	9.3	9.8
43	45	ボランティア活動に参加したことがある	30.9	30.4	35.4	63.7	46.5	49.7
44	46	地域の大人に教わったり一緒に遊んだりする	23.5	16.7	17.9	8.0	7.9	8.2
46	48	ニュースを見る	57.6	56.8	54.5	61.3	51.5	51.8
47	49	外国の人と友達になったり知ったりしたい	50.2	42.4	40.6	40.6	40.0	36.6
48	50	留学したり、国際的な仕事に就いたりしたい	24.4	19.1	16.0	18.9	20.5	16.1
49	51	学校の規則を守る	47.5	42.7	46.4	70.3	57.6	63.0
52	54	いじめはどんな理由があってもいけない	77.4	77.9	81.2	63.2	65.9	73.3
53	55	人の役に立つ人間になりたい	75.1	66.7	68.0	61.3	61.5	66.1
54	56	「総合」で課題決定・情報収集/整理・発表している	32.7	26.8	27.1	50.9	19.4	21.3
57	59	授業で児童・生徒の間でよく話し合う	47.5	44.6	46.9	49.1	33.3	38.9
58	60	授業で課題決定・情報収集/整理・発表している	31.8	28.6	29.5	33.5	21.0	23.7
62	64	授業の最後に振り返りを行った	41.0	36.4	40.3	15.6	20.4	25.3
63	65	ノートに目標やまとめを書いていた	61.3	61.6	68.9	44.3	35.0	47.6
64	66	道徳で考えを深めたり話し合ったりした	42.9	33.0	37.2	30.2	25.0	33.2
66	68	400字2~3枚の感想文や説明文を書くのは難しい	30.4	30.4	32.9	20.3	34.1	35.6
67	69	考えを説明したり文章に書いたりするのは難しい	19.8	22.0	23.4	24.5	28.8	30.4
71	73	国語の授業がよく分かる	37.8	42.0	38.9	36.8	29.3	26.8
74	76	目的に応じて資料を読み、自分の考えを表す	25.3	27.4	26.1	26.4	19.3	19.4
75	77	意見を発表するとき話の組み立てを工夫する	26.7	22.0	21.2	17.9	15.8	15.3
76	78	国語で自分の考えを理由に気を付けて書く	41.0	34.1	33.1	25.0	22.4	22.7
80	82	算数/数学の授業がよく分かる	43.8	48.5	47.6	39.6	34.7	31.5
83	85	算数/数学を生活の中で活用できないか考える	43.8	38.4	35.6	17.0	17.3	16.5
85	87	もっと簡単に解く方法を考える	52.5	49.7	49.2	43.4	37.2	37.3

4 結果について

(1) 教科に関する調査より

どの教科、領域も全国や神奈川県の結果と比較して著しい差異は見られません。選択式、短答式、記述式など回答方式による平均正答率も全国のそれとおおむね同じ傾向です。正当数の中央値は小学校国語では国、県と同じで、算数では若干下回りました。中学校では国、県と同じまたは若干上回り、多くの児童生徒が国や県の平均的な児童生徒と同様に学習内容を理解しています。

基礎的な計算や漢字の読み書きなどが全国や神奈川県と比較して課題が見られます。繰り返しで学習をしたり、家庭学習と連動したりするなどして定着を図ることが望まれます。文部科学省、神奈川県教育委員会が「指導改善のポイント」を公表しています。校内で研修会を設けるなどして授業改善への不断の努力が求められます。

(2) 質問紙調査より～授業について～

小学校、中学校ともに肯定的な回答が多かった設問は次の通りです。

- ・学校に行くのは楽しい
- ・学校で友達に会うのは楽しい
- ・学級で何かをやり遂げ嬉しかった
- ・先生はよいところを認めてくれている
- ・学校の規則を守る
- ・総合的な学習の時間や授業で、課題決定・情報収集/整理・発表している
- ・授業で児童・生徒の間でよく話し合う
- ・400字詰め作文用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しい(1の回答が少ない)
- ・考えを説明したり文章に書いたりするのは難しい(1の回答が少ない)
- ・国語で自分の考えを理由に気を付けて書く
- ・算数/数学を生活の中で活用できないか考える
- ・もっと簡単に解く方法を考える

昨年同様、「総合的な学習の時間」に対する肯定的な回答も多く、主体的な課題決定、話し合い、作文、発表といった言語活動を通じて意欲的に学習に取り組んでいる姿がうかがえます。

次の設問では課題が見られました。

- ・授業の最後に振り返りを行った
- ・ノートに目標やまとめを書いていた
- ・いじめはどんな理由があってもいけない

授業の最後の振り返りについては、昨年度、一昨年度の質問紙調査でも同様の傾向が見られます。「ノートに何を書くか」ということはその授業時間において、課題にどのように取り組んだのかという記録であり、時間がたった後に学び直すための道しるべです。一単位時間の中で、学習内容の理解・定着・活用、言語活動の充実、ノート指導と求められるものは多いですが、授業スタイルや学習規律を整えるなどの工夫を通じて教員の授業力の向上が求められます。

「いじめはどんな理由があってもいけない」は、昨年度は中学校では大変高かったのですが、今年度は児童生徒ともに全国を大きく下回っています。反面「学校の規則を守る」と回答している児童生徒は大変多い状況です。いじめは絶対許されないこと、人の心を大きく傷つけることを繰り返し伝えていく必要があるでしょう。

「学校に行くのが楽しい」との回答が小中学校ともに55%を超えました。「学校で友達に会うのは楽しい」「先生はよいところを認めてくれる」「学級で何かをやり遂げ嬉しかった」などの肯定的な回答が多いことも合わせ、学校生活を楽しんでいる様子がうかがえ、今後とも継続が望まれます。

(3) 質問紙調査より～生活習慣、地域や社会に対する興味・関心等～

肯定的な回答が多かった設問は次の通りです。

- ・家で授業の予習をしている
- ・ニュースを見る
- ・外国の人と友達になったり、外国のことを知ったりしたい
- ・将来、留学したり、国際的な仕事に就いたりしたい

課題が見られる回答は次の通りです。

- ・朝食を毎日食べている(中)
- ・将来の夢や目標を持っている
- ・家で学校の宿題をする

外国の人や外国への興味・関心が高く、留学や国際的な仕事に対して意欲的な回答が多いことは大変喜ばしいことです。二宮町では独自にALT(Assistant Language Teacher:英語を母語とするネイティブスピーカー、担任と一緒に授業を行います)を全小中学校に配置しています。小学校からALTに慣れ親しむことが外国の文化や人々への関心の高さに少なからず貢献しているのではと考えられます。

「家で学校の宿題をする」と回答した児童生徒は少ない傾向ですが「家で予習をしている」と回答した児童生徒は多い傾向があります。平日に2時間以上学習している児童は26%、生徒は51%でした。テレビやDVDを見る時間が4時間を超える児童は20%、生徒で15%であり、教科の結果とのクロス集計からは、学習時間と教科の結果には正の相関が、テレビやDVDの視聴時間と教科の結果には負の相関が見えます。

中学生の朝食の喫食率は「どちらかといえば、している」という回答を合わせても89.6%となり、全国の93.2%、神奈川県91.8%と比較しても低い傾向にあります。生活習慣について問うている他の項目(就寝時刻、起床時刻)でも、若干ではありますが低い傾向があります。規則正しい生活習慣を身に付けられるよう各家庭、地域でもご尽力をお願いします。

児童生徒の携帯電話やスマートフォンの利用時間は、中学生では昨年度同様全国と大きく変わらず県よりは少なかったですが、小学生では長時間利用している児童が多い傾向があります。学習習慣と合わせて、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機、テレビなどメディアとの上手な付き合い方を習得する必要があるでしょう。

質問番号	普段(月曜日から金曜日)の1日あたり	児童	生徒
12	4時間以上、テレビやビデオ、DVDを見る	20.3%	15.1%
13	4時間以上、テレビゲームをする	8.8%	12.3%
14	4時間以上、通話やメール、インターネットをする (ゲームを除く)	6.0%	10.4%
15	3時間以上、学校の授業以外に勉強している	11.1%	17.0%

ボランティア活動への参加については、児童と生徒で回答が大きく異なりました。発達段階も考慮しながら地域行事への参加などを通じて、地域の一員として育つことが望まれます。

5 今後に向けて

二宮町教育委員会では、本調査の結果の分析と考察を行い、その結果を各学校に示しました。各学校では、それぞれの分析を加えて課題を検討し学校経営に反映させています。

今後とも、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努め、より効果的なカリキュラム・マネジメントが行えるよう教育委員会は各学校を支援して参ります。合わせて、基本的な生活習慣や学習習慣の確立の大切さを家庭、地域の皆様と共に考えていきたいと思ひます。

本町の児童生徒の健全育成のため今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。